

埼玉県草加市
株式会社 島忠 ホームズ草加舎人店 様

ダイキンガスヒートポンプエアコン
ビル用マルチG-up II



快適な省エネ対策とエネルギーの多様化を図り ガスと電気の複合型空調システムを採用。

ご採用の経緯

**節電・省エネは社会的命題。
しかし、お客様のためにも快適性は維持したい。
その解決策がガスと電気の複合システムでした。**

- 当社は家具やインテリア雑貨、ホームセンター商品を核とした複合商業施設を各地に展開させていただいておりますが、どの店舗においても経費の削減、省エネ・節電対策は重要な課題です。
- 特にエネルギー消費の大きい空調の省エネ化が命題なのですが、お客様に対する快適性を抑えるわけにはいかず、大きな悩みになっていました。
- 2013年11月にオープンしたホームズ草加舎人店においても、設計段階で様々な検討を行いました。



株式会社 島忠
総務部 副部長
森川 一郎 様



株式会社 島忠
店舗開発部 課長
松本 邦之 様

- その時、東京ガス様からご提案いただいたのが、ガスヒートポンプエアコンと電気ヒートポンプエアコンを組み合わせた複合システムでした。
- ガスヒートポンプエアコンなら快適性を損なうことなく電力消費量が抑えられる、一方、電気ヒートポンプエアコンとの複合化で、使用エネルギーの多様化が図れ、エネルギー事情の変化に柔軟に対応できると考えました。

問題は日常の空調管理が複雑にならないか？ ダイキン・ハイブリッド空調システムが解決してくれました。

- ガスと電気。方式の異なる2つの空調システムが混在すると、日常の管理が複雑にならないか懸念しました。
- そこでご紹介いただいたのがダイキンハイブリッド空調システムでした。
- 2つのシステムが1つの集中管理機で一元管理出来るだけでなく、その操作・設定の仕方まで全く同じなので、1つのシステムを管理するのと同じ感覚です。



テナント様の空調料金管理を含め、2つのシステムの全てをこのインテリジェントタッチマネージャー1台で一括管理。▶

- また、室内機も操作性はもちろん、デザインまで同じなので、1つのフロアに混在設置してもなんら違和感がありません。
- もちろん、1メーカーでの展開ですから、サービス対応などもひとつの窓口で済みます。
- 室外機を意識しなければ、ほとんど1つのシステムと同じですね。

おかげさまで受電容量を約40%低減。快適性を維持しながら電力と経費の大幅削減ができました。

- 具体的には、飲食店など40店舗のテナント様には、空調料金を明確にするために電気ヒートポンプエアコンで対応。直営スペースや共用スペースは、ガスヒートポンプエアコンまたはガス・電気の2系統で展開。



主に直営スペースや共用空間はガスヒートポンプまたはガス・電気の混在。テナントスペースは電気ヒートポンプで展開。

- ガスヒートポンプエアコンはビル用マルチG-up IIが800馬力、電気ヒートポンプエアコンはビル用マルチVe-up IVが780馬力。半分以上をガスヒートポンプにシフトすることで、当社の同規模他店舗に比べ受電容量を約40%も低減できました。



ガスヒートポンプ(左)が800馬力、電気ヒートポンプ(右)780馬力。いずれも個別空調の行えるビル用マルチタイプ。

建物・設備概要

- 建物用途：複合型大規模商業施設
- 空調有効フロア：42,827m²・地上5階建
- 直営スペース：約33,250m²
- グランドオープン：2013年11月28日
- ご採用空調設備：ビル用マルチG-up II/800馬力・ビル用マルチVe-up IV/780馬力

- 電力の基本料金を大幅に抑えられたのは経費的にも大きなメリットでした。
- 今後、月々の冷暖房費の低減化にも大いに期待しています。
- 好結果が得られれば、他の店舗への導入も考えています。